

令和２年度第４回伊予市総合計画策定審議会会議録

日 時：令和３年２月５日（金）１３時２５分～１４時４５分

場 所：伊予市庁舎３階庁議室

出席者：前田眞会長、河合浩二副会長、東瀨則之委員、高岡公三委員、西田和眞委員、村上縁生委員、出来和人委員、亀岡功生委員、土井一成委員、大西聡委員、岡田智恵委員、沖田誠二委員

欠席者：田中美和委員

事務局：未来づくり戦略室（皆川・岡井・曾我部）

１ 開 会

委員１人の欠席報告を行い、会議の成立を確認した。

２ 議 事

（１）第３回会議録の確認について

（事務局）

まず第２回会議録の確認を行い、その後第２回審議会で委員から頂いた意見を踏まえた第２次伊予市総合計画後期基本計画（案）の説明を行い、改めて意見を頂いた。計画全体の一通りの確認を頂いた後、各委員から計画全般に関する意見を発言いただいた。最後にスケジュール及び今後の進め方を確認し、会を閉じている。

なお、前回の審議会の時点では基本計画の細部が整っていなかったことから、後日意見公募の実施に合わせ、計画の全容を送付させていただいた。

（２）総合計画に関する意見（市民意見公募、審議会委員、SDGs 推進プロジェクト委員）について

資料１、２を基に説明

(事務局)

資料1は、1月15日から2月3日まで実施した市民意見公募で提案いただいた意見である。表の左側が意見、右側が回答案である。実際には2人から意見提案があり、意見の内容について、各課からの回答を表示し、適宜計画に反映している。実際の計画案への反映状況は後ほど説明する。こちらの公表内容が後日市のホームページで公開することになるので、市民からの意見とその対応について読み上げて紹介する。ご確認ください。

(資料1の市民意見の意見と対応内容を報告)

以上、市民意見公募で意見として出た内容である。

続いて資料2をご用意いただきたい。先ほど触れたとおり、市民意見公募の開始に合わせ、委員にも計画案に関する意見があればということで依頼しており、3人の委員から意見・提案を頂いた。さらに1月29日に庁内職員で組織するSDGs推進プロジェクトを開催し、その場で出た意見についても掲載している。変更した内容は、後ほどの計画案で合わせて説明する。ここでは計画に反映しない部分について、理由を含め説明する。

80ページの4-③の現状と課題の箇所において、「現状認識として、コロナ禍による中小・零細企業への多大な影響に関する記述を追記してはどうか。」という意見があり、修正案として「賑わいが薄れるとともに、未曾有のコロナ禍により中小・零細企業は経営存続の危機に直面しています。」を提案いただいていた。こちらは所管課や内部で協議したのだが、コロナ禍に対する直面している内容は正しい内容ではあるものの、この内容を記載すると、民生分野や教育分野、様々な分野がコロナ禍の影響を受けていることから、全て記載するとなると文書が雑多になる、序論の社会的背景に新型コロナウイルス感染症の件について触れていることもあり、見直しをしていない。以上で説明を終わる。

(会長)

事務局から総合計画に関する意見について説明があった。実際の計画への反映は、この後の議事で項目ごとに確認しながらという形になるかと思うのだが、今説明があった時点で、この内容をもう少し聞きたいということがあれば出して

ただければと思う。いかがだろうか。表記の点に関することと、行政の市政に関する意見もあったかと思うが、具体的な内容の確認に入ってよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは引き続き、それぞれの意見を踏まえた形として修正を加えた内容を説明いただきたい。

(3) 第2次伊予市総合計画後期基本計画（案）について

資料3及び第2次伊予市総合計画後期基本計画（案）を基に説明。

（事務局）

資料3、新旧対照表については、市民意見公募を実施した際の修正点、また委員の方々から頂いた意見について修正を加えたものである。右側が変更前（従来の文書）、左側が変更後となっている。右端に備考、変更した理由を書いている。計画の確認ということで、やや時間を取らせていただき、総合計画後期基本計画案に沿って説明する。

目次を見ていただくと、前回示したとおり、序論、基本構想、基本計画と大きく分けて3つに分かれているので、まず序論の変更点を説明し、続いて基本構想、基本計画の順に変更箇所を説明する。なお、新旧対照表で変更している内容については、本文に赤字で記載している。それを追っていきながら説明を進めていく。

（序論の変更箇所を説明）

（会長）

少し長いので、途中で切りながら確認をしていく。ここまでの内容については、伊予市を本市、市という言い方変えたり、分かりやすい表記に変えたりということであった。特に問題はないのかなと思うがよろしいだろうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、このような形で修正を進めていければと思う。基本構想について願います。

（事務局）

それでは、引き続き説明を行う。

(基本構想の変更箇所を説明)

(会長)

少し説明が長くなったが、基本的には、文言の注釈を付けたり、表記のゆれを直したり、というところが中心かなと思う。ただ文章を分かりやすく変更したところが2箇所ある。26ページの未来戦略3「人口減少を食い止め、地域を将来にわたり維持存続させるためには、」のあと、「これまでの地域のつながりを見直し、多世代が交流できる環境やマインドづくりが必要です。また、移住者の受入れ体制や支援を充実する必要があります。」という表記に変えている。また、29ページ「豊かな自然を次世代へつないでいくために、」のあと、「リサイクルのさらなる普及や再生可能エネルギーの導入など、自然環境に配慮した循環型社会づくりを目指します。また、地域のボランティア団体や市民との協働により、快適で安心して暮らせるまちづくりを進めます。」と文言を修正している。違和感がなければこのまままとめさせていただければと思う。よろしいだろうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

はい、ありがとうございます。それでは引き続き内容について説明をお願いします。

(事務局)

42ページから基本計画に移る。共通で変更している箇所があり、まずは元号。平成、令和、H、Rと複数の表現があったため、こちらは元号を全て令和、平成に統一した。また数字に関して、1桁で記入があるところは全角表示、2桁以上あるものについては半角表示と統一している。さらに、以前は【重要業績評価指標】という表記のところを【重要業績評価指標の現状把握値と目標値（令和7年度）】とした。表のところ目標値（R7）とあったものを、目標値（令和7年度）とすると表の項目が1行で収まらなくなる。2行にすると、ぎゅうぎゅう詰めになっている施策は表示ができないという事象が発生したので、この7年度については、表題に移動している。これらは全ての基本計画で共通の内容である。

それでは各々の修正内容について説明申し上げる。

(基本計画の変更箇所を説明)

(会長)

こちらも長くなったのだが、変更点についての説明がページごとにあった。これらの内容について、委員の意見がうまく反映されているかということもあるし、市民意見公募などの反映がこれでいいかどうかというところの最終チェックになると思う。

文言修正の必要はあるかと思う。例えば73ページの重要業績評価指標(KPI)であるが、スポーツ強化の加盟団体を維持しますとあるけれど、36から34に減るのが維持と言っていいのかわかるか気になる。維持なら36が36ではないかという気がする。あと77ページで日本型直接支払制度に取り組む農地面積を維持しますと、項目として新しく入った。この辺の考え方がどうかなと思う。また87ページのところ、住民自治組織に対する研修会を実施しますとなっており、どの単位で研修会をするかという話もあるのだが、4回でいいのだろうか。自治組織の範囲が小学校区くらいの単位だともう少し数が増えてもいいのかなという気もする。

私が気になったところは、そういった点である。それ以外で気になったところがあれば、疑問点として出していただければと思う。いかがだろうか。

(事務局)

よろしいか。今意見を頂いた件について、こちらでも把握できていないのだが、例えば73ページのスポーツ・レクリエーションの振興でスポーツ協会加盟団体数を維持するとある。現状を確認して、もし今どんどん減少が進んでいるという状況であれば、その減少を抑え、なるべく維持するというところで、例えば指標のところ、減少が著しいスポーツ協会加盟団体数をなるべく維持するであるとか、状況を踏まえた内容で、再度確認をしたいと思う。

(会長)

少し減少を抑えるとか、減少傾向を抑えるとか、表現のことではあるのだが、私は気になった。

(事務局)

続いて77ページ、魅力ある農業の振興の「日本版直接支払制度に取り組む農地面積を維持します」というところ、こちら農地面積が減っている状況である。

元々耕作農地の維持としていたのだが、耕作農地の把握が難しいことから、交付金を支払っている（＝把握可能な）ものを重要業績評価指標としたのではないかと思う。こちらについても確認をさせてもらう。最後の住民自治組織に関する研修会の実施について。ご指摘のあった小学校区単位であればもう少し増やしてもいいであるとか、目標値の回数4も年に4回なのか、累計で4回なのかも含め、再度確認を行う。その下段にある市政懇談会を実施しますも同様に、今は未実施であり、7年度までの5年間で2回くらいやろうということか、年に2回やるということか、合わせて確認したいと思う。

（会長）

お願いしたい。その他いかがだろうか。

（委員）

よろしいか。内容面ではなく、表記の点である。基本計画の各項目に市民満足度調査結果、重要度と満足度のグラフが付いている。それに対する解説を追加していただいた方がよい。具体的に言うと、市民満足度調査を平成30年度と令和2年度にされているのだが、例えばサンプル数がどれくらいとか、抽出方法、これはおそらく無作為抽出だろうと思うのだが、それも記載いただいた方がよい。グラフを見たときに、市民は少し誤解される可能性がある。4つの象限で、右下が重要改善分野、左上が維持分野となっている。そうすると、この赤字で書かれたところを伊予市として注力していくと、右下のゾーンにプロットされた項目が重点改善分野だと捉えて、ここに資源を投入していくのかと捉えかねないので、この辺りの説明をどこかに追加しておいた方がよいと思う。あと、全体を見渡してみると、ほぼ全ての満足度が上がっている。その満足度の上がり方が1ポイントや2ポイントではなく、大きいスケールでかなり上がっている。2年間くらいでこんなに上がるのかというのが、まず疑問である。ひょっとすると、サンプル自体が全然別のサンプルというか、選ばれて市民満足度調査に参加した人たちが全く別という違いによってこういう差が生まれているのかもしれないと思った次第である。

最初に戻るのだが、市民満足度調査のそれぞれの年の実施状況に関し、どこか

に追加していただくということ、それから、この赤字で書かれている文言に関する補足、あと細かいことを言えば、4象限に区切っている縦と横の線が一体何を基準に引いているのかとか、その辺りの説明が全体の中で追加が可能であれば追加いただきたい。この市民満足度調査結果、重要度と満足度をここに持ってきた意図も説明いただくと、間違った理解もそこそこ防げるのではないかと感じた。これを載せるかどうか、そんなに大きな問題ではないのかもしれないのだが、私なりに見たときに、少し引っかかってしまったため申し上げた次第である。

(会長)

満足度の評価については、報告のときに少し説明があったかと思う。それをこの計画書の中にも補足して載せるかどうかという話で言えば、1個1個にコメントを付けるか、全体としてのコメントを後ろの方に参考という形で付けて、表の見方を説明する形にするのか、2つのやり方があるのかなと思う。事務局としていかがだろうか。

(事務局)

最終的な結果やどれくらいの対象者がいるかという掲載は考えていたのだが、見方そのもので言えば、やはり基本計画の見方としているので、そこに加える、又はページを割いて増やしたいと思う。数値が上がっている件について、対象者は無作為で当然別の方が回答している。確かに満足度がどれも高い傾向にあったのは確かである。あと、象限を区切った線については、施策が24あり、平成30年度における24施策のちょうど中間点、中間値を基軸としており、満足度が12項目ずつ、重要度も12項目ずつで分かれており、なるべく右上の方に持っていくと。今回は令和2年にどれだけ改善したか示すため、平成30年の機軸をベースにしている。そういう内容も含めて説明を入れたいと思う。

(委員)

サンプルが無作為抽出で全く別であるということであると、おそらくここまでの変化は起こらないと思う。サンプル数はどれくらいか。

(事務局)

1,500通である。

(委員)

同じサンプルで1,500通なら、この規模の変化は起こらないと思う。市民無作為抽出は、住民基本台帳からランダムサンプリングをして、きちっとされていると思う。とするならば、回答された方々の層が違っているかもしれないということがある。これは非常に分かりやすい図なので、今後2年後や4年後、こう変わったというふうに、経路をもう一つ増やすことにより、こう変わってきたと市民の方々に開示するのはすごく意義深いと思う。その前提として、1,500もの無作為抽出をされているので、その結果の部分として、サンプルして得られた属性が一緒かどうかは、やはり検討しておいていただきたい。年齢、性別くらいは確認していただき、大きな変化がないということを確認しておいていただいた方が良いかと思う。今の回答いただいた内容を簡単に結構なので、見方のところに補足していただければ、誤解する人や私のように疑問に思う人も少なくなると思う。より適切に市民の皆さまに見ていただくものになるのではないかなと思う

(会長)

ありがとうございます。注記の部分と、誤解のない形でまとめていく。できればその属性、主にどんな人が答えてこの結果になったのか、年代とか性別とか見ながら確認していくというのも、信ぴょう性を図るという意味で大事かなと思う。今回の計画でどこまで反映させるかは、事務局と私の調整に一任させていただければと思う。いかがだろうか。

(委員)

今回押し迫っているので、加える必要は必ずしもないと思う。これは会長、事務局に一任とさせていただければと思う。

(会長)

ありがとうございます。ほかにお気付きの点があれば…よろしいか。それでは、今回は最終チェックをした上で市長に答申というのは、修正事項も出ているので、その辺りの取り扱いは私と事務局で調整しながらということで、お任せいただければと思うのだが、よろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

(4) 答申案について

(事務局)

ご審議ありがとうございました。答申をするに当たり、答申案を事務局で作成している。これから配布する。これまでの審議会で委員から頂いた意見を踏まえた形での案としている。

(会長)

それでは、この案については、私から読み上げる形で皆さんに確認していただくということでよろしいか。それでは読み上げる。

(答申案読み上げ)

計画書と合わせて、答申をしたいと思う。文言等を読んでいただき、修正した方がいいということであれば提案いただければと思う。いかがだろうか。よろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、この文言で計画書と参考資料を付けて市長に答申という形としたいと思う。ご協力ありがとうございました。

(委員)

よろしいか。先ほど私が発言した市民満足度調査の件については、今回の答申とは切り離してもらい、後で調整できるならしてもらおうという形で、今回は準備もされていると思うので、このまま答申してもらおうとありがたい。

(会長)

ご配慮ありがとうございます。事務局と調整しながら、そういう形で良ければ進めたいと思う。ほかにはよろしいか。それではこの案で、基本計画については少し内容の修正が間に合えば、であるが、今日の今日なので一旦この形で出した上で、参考として付け加える形になるかと思う。ではその形で進めたい。

(5) その他

(事務局)

ただ今確認いただいた内容をもって、この会は閉じる。その後、会長から市長

へ答申を行う予定としている。

答申のあった後、市として、意見のあった内容、また再度計画の中身を精査し、参考資料を末尾に追加した形で、総合計画後期基本計画を策定することとしている。今のところ3月に予定している市議会全員協議会、議会ではなく全員協議会の場において、議員への報告、その後市民に公表する予定である。

審議会委員の皆さまの任期は、条例に基づき来年度末までとはなっているものの、今回の答申をもって、総合計画の策定については、一旦任務を完了することとなる。万が一、急遽検討しなければいけない議題が生じた場合は、その時点で相談させてもらえらばと思う。大変熱心な議論ありがとうございました。

(会長)

一応この形で答申し、再度精査が入ることなので、その時の対応とさせていただきますらばと思う。委員の皆さまの協力をもって、基本構想に沿った素案ができたと思う。今後はこの方向に基づいた市政運営をお願いしつつ、以上でこの議事を終了する。4回にわたる熱心なご審議、皆さんに感謝する。ご協力ありがとうございました。

3 閉会